



令和6年2月5日
鈴鹿市立国府幼稚園

2月に入り、寒い日があったり、暖かい日があったりして、体調管理が難しいですね。ご家庭の協力により子どもたちの元気な姿を毎日見ることができ、大変うれしく思います。

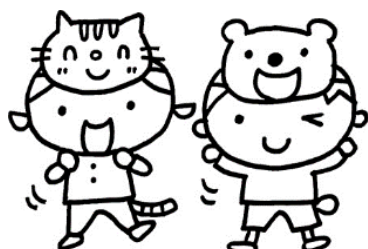
今回、生活発表会に向けて子どもたちと一緒に 劇・合奏・うた を決めたり、一年間の園生活を振り返りながら、話し合ったりして作り上げ、日々の練習自体、どの子ども楽しみながらすることができました。まだまだ、環境に左右されやすいので、発表会の当日、大勢のお家の方に、緊張したり、泣いてしまったりすることもあるかと思いますが、温かく見守ってくださいね。

○ 生活発表会に至るまでの流れや見どころ

生活発表会で何をしようかとなったときに、普段から遊びなどで楽しんでいることを見せられたらと思いました。きっと「劇」とか「合奏」という型にはまった形を求めてしまうと3歳児は型にはめることができるのかもしれませんが、これからの園生活を3年間という期間で見ると、初めての生活発表会は、いちご組さんにとって見栄えではなく、「みんなですることが楽しいもの」であってほしいと思いました。また普段から、みんなでお面をかぶってなりきって遊んだり、かくれんぼやだるまさんが転んだ、あぶくたった等様々な遊びを楽しんだりしたことを、経験として劇や合奏にいかせたらと考えて、発表会の内容を決めました。

いちご組さんにとって、練習の時間が長いと集中力もなくなり、楽しくなくなります。いつもと同じようにゆっくり遊び、いつもと同じくらいの全体活動の時間に練習するくらいがちょうどいいのだと考えて、時間的にも余裕をもって少しずつ楽しみながら練習をしたり、衣装を楽しみながら作ったりして取り組んできました！特に劇の動物の役は、なりきることが楽しい姿があります☆かわいいですよ！

だからこそ、セリフや内容も子どもたちが楽しんでいたりと、実際に子どもたちの言葉を生かしたりするものにしました。初めての発表会や大勢の人に緊張もあるかと思いますが、少しでも普段の練習の楽しんでいる様子を当日発揮できたらと思います。お楽しみに！！



◀ 生活発表会・今までの練習風景 ▶



○ 全体活動や降園前の少しの時間にみんなで踊ったり、なりきったりして楽しめます☆



○ あぶくたつたや転がしドッチ、「したい！」と思ったら、自分たちで遊びを始めるほどです！！



○ 子どもたちは、自分たちが劇の主役であると同時に、観客(お客さん)でもあります。自分たちも、観る側になって劇を観て楽しむ気持ちがないと、楽しくできません。



お茶のおはなし会って何？

ちゃこちゃんです→

先月12日(金)に『お茶のおはなし会』が遊戯室でありました。お茶のおはなし会と言っても、何かわからないと思いますが、鈴鹿のお茶について、お茶にくわしい方に来ていただいて、わかりやすく『お茶ができるところからお茶のおいしい飲み方』までを教えていただきました。普段お茶を飲み慣れていない子たちも、お茶ってどんなものなのか、どうやって出来ているのか、急須(きゅうす)を使ってどう入れるのか、をちゃこちゃん🍵に楽しく教えていただきました🍵

初めて触れるお茶の葉に、子どもたちは興味深々！触れたり、においをかいだりして、五感でお茶を感じていました。

その後、さくら組さんとうめ組さんは急須でのお茶の入れ方を習い、うめ組さんが入れてお茶を(お菓子とともに)飲んでいましたよ！いちご組さんは、先生や講師の方たちが入れたお茶を恐る恐る飲んでいましたよ！(お菓子は喜んでいましたが、お茶は飲める子と飲めない子がいました。)ただ、飲める飲めないより、知る機会、経験をもつことが大切だと思います。これを機に、お茶に少しでも興味をもてるといいなと思います。



鬼が来たぞ〜！！



節分の季節がやってきました！節分と言えば、鬼！国府幼稚園の鬼はリアルで、いちご組さんは怖がるかも…と思い、一足お先に鬼にご対面をしました。初めて見る鬼に、一瞬みんなはシーンとなりましたが、鬼のおなかにボールを当てようと言うと、がぜん張り切りだしました！最後にはこの通りでした🍡

